



システム創成学専攻の大澤です。私の研究室の研究ネタから話しますと、これは最近システム創成の教員数名で開発したゲームで「イノベーションゲーム」と言います。

このゲームで、プレイヤーは企業の社長さんの役を演じていきます。

この写真はプレイの1シーンですが、右の人はビジネスのアイデアを書いたカードを組み合わせて、新しいビジネスを提案しています。左の社長さんは、その事業や商品を買ってくれんかと。で、双方が価格合意に達すれば商談成立です。良いアイデアを出す社長はリッチになって、リッチな社長が勝ちです。

このゲームをやっていくと、ビジネス企画や政策、さらに製品の発明といったいろんなイノベーションの能力が身に付きます。

上の図は、大澤研流にこれを発展させたもので、ゲーム盤を使います。このゲーム盤もオリジナルで、関連の強いアイデアを結んだ黒い塊をいくつか作って、可視化しています。そして、赤い点のところは、「ここにはまだビジネスはないけど、何か生まれそうだ」という場所です。この図を使うと、ビジネスマーケット全体を考えながらイノベーションを続ける能力が発揮できます。

この方法は昨年開発したのですが、実際の会社で、ビジネスや製品開発などに導入しつつあるようです。

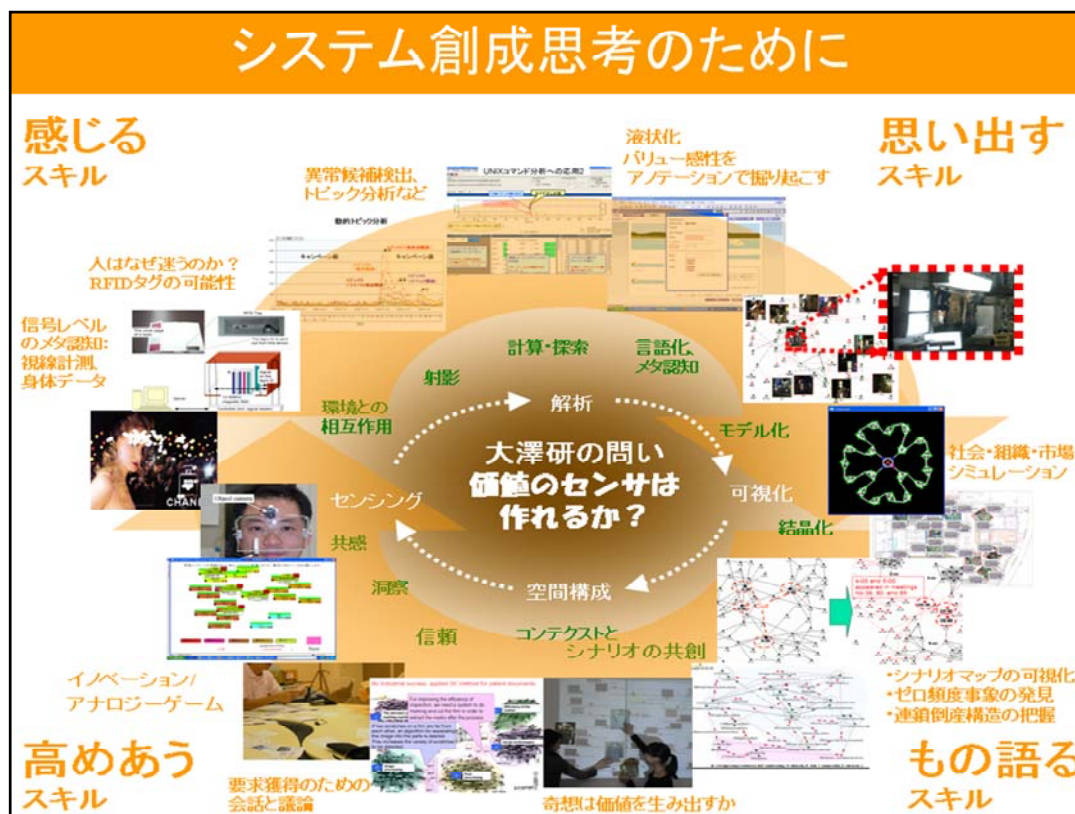


人と自分の考えが似ているとか関連しているとか感じ取る能力は、イノベーションゲームだけでなく、人とチームを組んで組織を作ったり、部品を組み合わせて新製品を作ったりする際は必ず必要となります。

このアナロジーゲームは、まずコンピュータが画面にランダムな単語を出してきます。東京大学とか、エジソンとか、象とか、ロケットとか。こういう単語のうち、普通は考えない類似性を考えて同じグループの単語に同じ色をつけていくゲームです。象と東京大学が似ている、理由は大きいから。とか、象とロケットが似ている、理由は乗り物だからとか。

一見簡単なゲームですが、このゲームのスコアは、プレイヤーの創造性や要領の良さという、日常接する人だけがわかる能力を的確に反映します。で、繰り返してプレイするとそういう能力が身についていきます。

本当はビジネスマン向けだったのですが、5月際には親子連れがたくさん遊んでいて、意外な楽しみ方もあったりします。



結局、私が思っているのは、こういうことです。

社会にしても市場も製品にしても、システムです。システムを作り出すには、いろいろな人とか環境とか物とかお金とか、そういう部品をうまく繋いでできる新たな価値を感じ取って、その価値を実現することを目指さなくてはなりません。

イノベーションゲームも、アナロジーゲームも、そのようなことのできる能力を引き出したり育てるための方法です。しかし、そのようなゲームを考える背景にも、データをさっきのゲーム盤のように可視化する技術や、人間の思考を分析する技術が必要になります。視線運動計測のような認知科学研究を進めているのもそのためです。

つまり、ビジネスチャンスを感じ取ったり、感じたことを思い出したり、思い出した言葉やお客様の言葉を分析して新しいビジネス戦略を語り合ったりする。それから、そこで人の戦略と自分の戦略を統合してもっとすごい戦略に高めあう、一連の思考と会話のプロセスをどう作るか。そこには、人間と人間、人間と機械や環境がうまく交わるための技術が必要だというわけです。

さて、みなさんは人間です。優秀な選ばれた人たちです。だから、新しい価値をもつ社会を作る能力を持つ責務があります。そこを直視して、能力を研鑽し、また研鑽する技術を学ぶ場所としてシステム創成学専攻があります。進学をお待ちしています。

ちょっとだけ宣伝・・・

サイエンス ZERO

毎週土曜日(日曜0時)24:00~24:44 NHK教育

放送予定 | これまでの放送 | 番組について | 出演者紹介 | よくある質問

放送予定

サイト内検索 search

5月31日(土) 24時(日曜0時)放送予定

データから宝をさがせ チャンス発見学最前線 **ZERO**



膨大なデータの中に潜む、実は重要なチャンス。そうしたチャンスを見出そうという「チャンス発見学」が、いまさまざまな分野で応用され始めている。チャンス発見学で使われるのが、顧客アンケートなどの大量のデータをもとに、その出現頻度や関係性の強さを視覚的に表す「キーグラフ」という図だ。この図を用いることで、たとえ出てくる頻度が低くても、重要な意味を持つものを見出し、チャンスの発掘につなげることができる。この手法は、リスクの解析などにも応用が可能で、例えば、過去に起きた地震のデータを解析し、地震が起こる可能性について調べようという研究も行われている。またチャンス発見学を用い、交渉事の複雑なやりとりを解析する研究にも役立てられている。

データ解析への新たな試み・「チャンス発見学」の最前線に迫る。

放送日:5月 31日(土)24:00~ 教育
再放送:6月 5日(木) 3:15~ BS2
再放送:5月 6日(金)19:00~ 教育
※6月 5日(木)BS2での再放送時間は通常と異なります。

ちなみに、ちょっとだけ宣伝。私自身の研究のうち、データ可視化の部分はNHK教育の、次回のサイエンスZEROで放映されます。

いろいろ頑張っていればよいこともあります。安めぐみさんは、本当に素敵な人でした。